

## 議事録

委員会名	千代田区消防団運営委員会
日時	令和7年1月22日(水) 15時00分～15時29分
場所	千代田区九段南一丁目2番1号 千代田区役所8階第2委員会室
諮問事項	変化する社会情勢に適切し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか
出席者	樋口 高顕(千代田区長) 大山 恵子(神田防火防災協会女性の会会長) 林 則行(区議会議員) 白川 司(区議会議員) 岩田 かずひと(区議会議員) えごし 雄一(区議会議員) 大高 浩(丸の内消防署長) 山口 圭二(麹町消防署長) 岡部 卓海(神田消防署長) 平位 誠一(麹町消防団長) 小林 泰夫(神田消防団長)
欠席者	吉田 淳一(丸の内防火防災協会会長) 坂井 重正(神田防火防災協会会長) 千葉 太(丸の内消防団長)
傍聴者	0人
配布資料	1 消防団運営委員会委員名簿 2 千代田区消防団運営委員会答申

## 議事録

(区事務局)

では定刻になりましたので、ただ今から令和6年度第2回千代田区消防団運営委員会を開催いたします。本日はお忙しい中、本委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。私は本委員会事務局の千代田区行政管理担当部長の中田と申します。よろしくお願いたします。

尚、本委員会は議事録作成のため録音させていただきます。また、作成しました議事録は原則公開とさせていただきます。後日区のホームページに概要版を掲載致しますので予めご了承下さい。それでは開催にあたりまして、当消防団運営委員会委員長、千代田区長の樋口よりご挨拶を申し上げます。

～委員長挨拶～

(区事務局)

次に、各委員の紹介でございますが、お手元に配布した資料1の名簿ご覧いただき紹介に代えさせて頂きたいと思っております。尚、消防団運営委員会の事務局は各消防署の警防課及び区、災害対策・危機管理課がつとめます。消防署の統括は神田消防署が担当されております。よろしく申し上げます。

次に、本日の資料を確認致します。机の上に配布させて頂いております。次第と1から2までの資料がございます。資料の不足等はよろしいでしょうか。

それでは、議事に入る前に本日の出欠状況をお知らせします。本会議の定数は15名となっております。現在の出席は12名、欠席は3名でございます。したがってまして特別区の消防団の設置等に関する東京都条例第9条に基づき委員の半数以上出席がございますので本日の会議は成立致しております。尚、委員の皆様におかれましてはご発言される際は、マイクのスイッチをONにしてからご発言をお願いします。また、本日は午後4時の終了を予定しておりますので、速やかな議事進行にご協力を頂きますようお願いいたします。

(委員長)

ただ今より議事に入ります。千代田区消防団運営委員会答申について事務局に説明を求めます。

(消防署事務局)

神田消防署警防課長浦川でございます。本日は貴重なお時間をいただき誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは着座にてご説明させていただきます。本日の運営委員会につきましては、令和5年度に受けた諮問事項につきまして、昨年度と今年度にわたりご審議をいただきましたご意見を整理いたしまして、最終の答申として作成しました内容をご報告させていただくものとなっております。資料の2をお開きください。

「第1 諮問事項」について再確認させていただきます。先ほど委員長からありましたとおり、諮問事項につきましては「変化する社会情勢に適応し特別区消防団の組織力を向上させ住民の負託に応え続ける方策はいかにあるべきか」でございます。

「第2 諮問の趣旨」及び「第3 審議期間等」につきましては記載されております内容のとおりでございます。

次のページをお開きください。「第4 答申内容」でございます。委員の皆様にはこちらの四角で囲んでおります2つの項目についてご審議いただき、様々なご意見の内容を各方策として示させて頂いたものとなります。まず初めに前回昨年の7月に実施いたしました運営委員会においてご審議ご意見いただきました内容等について反映させて頂きましたところからご説明をさせていただきます。

まず初めに資格取得に関わるご意見でございます。資格免許等の更新料についての補助が必要であるのではないかというご意見をいただきました。本件につきましては項目1-1「継続したいと思える組織の活性化方策」の「(2)資格取得講座、各種講座や教養講座など」のア(イ)に資格取得はもちろんのこと、資格取得後の更新手数料等を含めた資格技術の維持のための支援を行うことが消防団員のモチベーションやスキルアップに必要であることを盛り込んでおります。

次に消防団行事を通じた地域住民の理解促進に係るご意見でございます。こちらにつきましては、消防団が参加している各地イベント等の機会に消防団をPRするための広報例文などマニュアル等があればより効果が上がるとのご意見をいただいているところでございます。本件につきましては、項目2-2「消防団を地域により知ってもらう方策」(2)のウ(ウ)において、消防団員は元よりイベント等の運営側と連携を図り、PRのマニュアルや広報例文などを作成して消防団の魅力が伝わる広報を推進することを盛り込みました。委員からこのご意見を頂戴して以降に実際に神田消防団が参加したあるイベントにおいて、消防団PRの広報例文を作成いたしまして、参加消防団員に活用していただきましたところ、他のイベント参加者への広報効果はもちろんのこと、消防団員のモチベーション向上にも一定の効果が認められるとの声もいただいております。

それではただいまご説明いたしました内容を含めまして、本委員会の答申について説明をさせていただきます。項目1「地域防災の要である消防団として、変化及び成長していくことが重要である。」のための方策といたしまして、2点挙げさせていただきました。1点目は「継続したいと思える組織の活性化方策」です。やはり大切な事は各世代で消防団活動にやりがいを感じていただくことが重要です。学生、事業者や集合住宅はもちろんのこと、各地域に居住・勤務されている女性などターゲットを明確にした積極的な入団促進PRやそれぞれのライフスタイルに合わせて消防団活動が継続できる制度を最大限有効に活用することを推進いたします。例えば千代田区はマンション居住者が多くいらっしゃいます。先日には、千代田区マンション情報紙マンションサポート千代田第58号では、特集としてわが町の身近な防災のプロ集団として消防団の活動を取り上げていただいております。また、環境整備といたしましても負担軽減に配した効果的な訓練や行事内容の見直しを図る必要があります。資格取得やスキルアップのための支援体制の充実を図り、各団員のモチベーション向上や活動服への名札などの導入も検討して、団員間のコミュニケーションの醸成と活性化につなげる内容となっております。

2点目でございます。「最新技術活用での活動環境の改善方策」です。災害時には正確な情報が早期に伝達されることが非常に重要です。既存のSNSなど活用による遅滞のない情報伝達やタブレット等を活用した消防団活動のスケジュール管理、出動報告管理など事務効率や負担軽減を図ることが可能となります。さらには情報共有が早期で容易になることにより、各団員が自己の予定や事前調整がしやすくなることで、活動参加率の向上が望める形となります。また、資機材や被服の改修及び更新では、地域特性によ

って求めるものが違うことから、各消防団の意見を取り入れ、消防団ごとのニーズに合った適性配置とすることを示させていただきました。

項目2「活動力を地域で発揮していくことで、地域住民の負託に応え続けることが重要である。」のための方策といたしまして、2点挙げさせていただきます。

1点目は「計画的な人材育成方策」です。消防団活動能力を身に付け、地域住民の負託に応えるには計画的に教育や指導を継続的に行うことが必要不可欠です。訓練の計画には、新入団員への知識や技術を含めた初期トレーニングから、ある程度経験を有した団員への階級や役割を理解した活動ができるトレーニングと各団員の立場に応じた訓練計画の充実と、指導を受ける側だけではなく経験豊富な中核となる団員による指導体制の構築も併せて重要となります。そのためには、訓練指導者への研修の充実や実災害の活動がイメージできる訓練の取り組みが必要です。今後も消防署隊との連携を強く図り、地域で必要とされる消防活動能力の向上と機能維持を図っていく内容とさせていただきます。

2点目は「消防団を地域により知ってもらう方策」です。地域の行事や消防団行事など、様々な機会を通じて、地域住民はもとより消防団員の勤務先などを含めた多くの方々へ、消防団の組織や活動内容を理解していただく取り組みを行い、消防団の知名度や団員のモチベーション向上とともに入団促進につなげていくこと、さらには将来の地域防災の担い手である消防少年団や教育機関などと連携を強化し、総合防災教育を通して、青少年の育成と並行した消防団員の理解促進を図る推進内容としております。また、消防団協力事業所表示制度についても、地域における事業所等の社会貢献を強く広報するとともに、消防団のPRを強力に推進する内容となっております。

最後に本資料の訂正といたしまして、ただいま申し上げました「消防団を地域により知ってもらう方策」の「(3)総合防災教育等を通じた、児童・生徒の理解促進方策」でございますが、この(3)の児童・生徒のところを追記で、保護者等も理解促進の方策の中に入れさせていただきたいと思っております。なお、(3)ア(イ)において「地域や子供たちが親しみやすいよう」という文言がありますけれども、こちらにつきましてより具体的にわかるように、冒頭に「運動会や文化祭などを通じて、地域や子供たちが親しみやすいように」というように、把握しやすい文章として追記をさせていただきますと思っております。

以上、委員の皆様から長期にわたり、多くの貴重なご意見をいただき、本運営委員会の答申として作成をさせていただきました。説明については以上でございます。

(委員長)

ありがとうございました。7月でご質問またはご意見いただいたことを盛り込んだ答申となっているということでございますが、ただいまのご説明につきまして、皆様からご意見またご質問ありましたらお願いいたします。

(垣見委員)

素晴らしい答申をありがとうございます。小学校中学校など区立の学校を巻き込むということでございますけれども、最初7ページ(3)の防災教育を通じて児童生徒だけではなくて、本当に入ってほしいのは在住確率が極めて高いその保護者なんですね。両親と書くか保護者と書くかPTAと書くかはもちろん事務局にお任せします。この保護者を入れる意味は非常に高いんじゃないかなと思っています。

2番目は話にもあったような消防団活動は大変ということでございます。実際には都がですね。出初式で起震車に1時間待ち位の列ができるほど興味があるわけでございますので、本当に、かといって教育委員会の皆様にご負担をかけるつもりはございませんので、運動会や文化祭等の隙間時間あるじゃないですか、あの弁当食べてわーと言う時に6ページにありました、せっかく買っていたいただいたバッテリーミニカーとかですね、説明するとかですね、あるいは文化祭という具体的な場面だと非常に教育表現としていいんじゃないかというふうに思っております。

最後のエの(ア)に「消防少年団や教育機関のほか、保護者」とありますが、ここに保護者が入ってますと消防少年団の保護者かなというふうにかなり限定したイメージになっちゃいますので、ぜひとも3のトップに区内の公立学校の保護者、両親、PTA等々何か適切な文言を入れていただくと非常に有意義でより分かりやすくなるんじゃないかなというふうに思っております。私からは以上です。

(委員長)

会長ありがとうございます。今のご指摘いただいた部分を入れたということでありましたけれども、その背景、趣旨のところを教えていただいたところだと思いますけれども、いかがでしょうか。

(消防署事務局)

ご意見ご審議ありがとうございます。まさしく具体的にわかりやすくこちらの答申の中に盛り込むということで、幅広くこちらを読んだ方にご理解をいただいて、入団促進、消防団のPRにつながるということでございますので、最終答申としてはこちらの文言の方、先程の指摘の通り内容を修正いたしまして答申とさせていただきます。ありがとうございます。

(委員長)

ありがとうございます。他にご質問ご意見等いかがでしょうか。

(岩田委員)

はい岩田でございます。資格取得の更新料の件はありがとうございます。感謝申し上げます。

防災士の話なんですけれども、防災士のいろいろ補助金を出して安くとれるというような話もあるんですけれども、私個人としては防災士よりかは消防団に入ることをもっと強く皆さんに勧めていただきたい。と言うのも、防災士は試験のために1回だけでその知識もだんだん薄れていくということで、やはり消防団の方を継続的にやっていくことによって、いろいろ知識もまた繰り返し繰り返し思い出すことができるというのが理由であります。

そして活動服の点でございますけれども、1年に1度、2年に1度、結構定期的に服が変わったり、デザインが変わったり形が変わったり靴が変わったりするんですが、服も靴もそんなにいらないうです。欲しいものは消防団ごと分団ごとにいろいろ違うんです。例えば、麴町消防団の第2分団では、パトロール地域、搬送車でまわっていても、分団小屋と無線が繋がらない場所があったりとかします。高いビルとかマンションがあるおかげで。なので、例えば強力なアンテナだったり、無線機だったりというようなものが欲しいとか、いろいろそういう声もありますので、何を例えば予算化するのかっていうのも東京都のことでございまして、それを東京都のほうに答申として出すのであれば、まずは消防団員が何を欲しているかっていうのをまず聞いていただきたいです。直近でも「活動服が新しくなります、つきましてはアンケートを取ります。どの色がいいですか」みたいなアンケートがありましたけれども消防の服に関して「新しくしたほうがいいですか」という質問では全くなかった。いきなりデザインの話だったということも違和感がありました。なのでそういうことも答申としてお願いしたいと思っております。

そして最後にリーフレットのことなんですが、お笑い芸人の今田さんとかゆりやんレトリィバァさんの載ってるチラシがあったと思うんですけれども、そういうのも例えば区役所とか出張所とかに置けるんだったら置いたほうがいいんじゃないかと、そこは区長にお願いしてですね、やっていただければなど。そういうことによって皆様の目に少しでも映るのではないかと思いますので、以上でございます。

(委員長)

ありがとうございました。冒頭が資格の話が広がって様々な要望をしっかりと聞いてくれということだとございますけれども、事務局からお願いします。

(消防署事務局)

ただいま委員のご指摘の内容につきまして、回答させていただきます。まず防災士資格の件でございます。3ページ1(2)ア(ア)(イ)に防災士やという文言が入っておりますが、こちらの最後設備士等ということで、防災士に限定する答申ではございませんので、資格取得の例として挙げさせていただいております。

次に活動服に関してでございますが、4ページ(3)「各種資機材の適性配置と更新に合わせた仕様変更」という部分でございますが、こちらのアに「各消防団のニーズに合

った資機材の配置」として「地域特性によって求められる資機材は違うことから、各消防団の意見を取り入れその消防団に見合った資機材の配置を進めていく」ということで、こちらのほうに盛り込んでいる内容、こちらの方でいかがかなと思っております。最後にパンフレットについてでございますが、委員のご指摘の通り非常に効果的に進めるためには、各機関が連携を通してですね、連絡を密にしてパンフレットの配置などを検討していきたいと思っております。以上です。

(委員長)

警防課長ありがとうございました。

(区事務局)

災害対策・危機管理課でございます。岩田委員がおっしゃったリーフレットの件でございますが、基本的にですね、消防団の募集のリーフレットにつきまして、区役所4階の災害対策・危機管理課及び各出張所においてでございます。委員のおっしゃっていたゆりやんレトリィバァさんが載っていたかどうかちょっと私も確認しておりませんが、リーフレットにつきましてはきちんと更新して置いていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(岩田委員)

そのチラシの件、もっと皆さんの目につくようなところにぜひともお願いいたします。

その資機材の先ほど活動費の話ですけれども、各消防団のニーズに合ったというふうには書いてはあるものの、結局は配置されるときはみんな一斉に配置されるわけなのでもっと柔軟に、服が必要だよね、ドンと配置するのではなく、何が必要なのかを事細かくまず消防団員にアンケートを取るなりなんなり声をもっと聞いていただきたいなということでございますので、よろしくお願いいたします。

(委員長)

ありがとうございました。他ご意見ご質問等ございますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございました。では本日の議題は全て終了したということでございます。今後この答申案をもって今の改善点も含めて事務局から東京都知事宛に本日お示しした内容を答申させていただくというところでございます。そして本日最後になりますが、その他で何かございますでしょうか。

(垣見委員)

答申案の件では全くございませんけれど、皆様ロータリークラブという団体をご存知でしょうか。ロータリークラブに所属しておりますましてまさに岩田委員がおっしゃった趣

町消防署に、2年前洗濯機と乾燥機2台ずつ購入したという事例がございます。たまたま私、今年度そのロータリークラブの東京ロータリー神田・麴町・紀尾井町・丸の内総勢約600名仕切るロータリークラブの親玉みたいことをさせられています。もしそういうロータリークラブが何か寄付したりとかあちこちで30分くらい話さなくてはならないので30分あるうち1分くらいは是非地元在住の方は消防団のこととか消防支援の寄付等も社会奉仕の一環として考えてほしいと言うことをちょっとだけ言っときます。ロータリークラブは独立してますので、私が言ったから実現するわけではないんですけども、紀尾井町での洗濯機2台乾燥機2台寄付実績がございますので、その辺も併せて一千代田区在住民として頑張らせていただきたいと思います。

(委員長)

ありがとうございました。そうした今後のご奉仕、またやりとりにつきましても消防署ないし、消防団と通じてさせていただければと思いますのでよろしく願いいたします。ほかその他でご質問ご意見ありますでしょうか。

(白川委員)

白川です。いつも区民在住者のためありがとうございます。今回の答申について特にどうしろという意見は無いんですけど、どうもなんか総合的でいろんなことが書いてあって、最後まで読んだら前のことを忘れるみたいな情報量の差というのがあるものですから、この答申はこれとして、今年はこう頑張ろうみたいな強調がほしいなと実は思っております。

例えばその資格試験みたいな新しいアイデアだったら、とりあえず今年は資格試験についてしっかりやろうと。他のことについてはぱっと読んでみて達成しているあるいは実現しているような内容かなというふうに思いますので、私はその情報の取捨選択、捨てる方ですね、どんどん増やしていくとこれでページが増えていって絶対覚えられないというふうになってしまうという懸念がありますので、私は1つ増やしたら1つ減らす、2つ減らすみたいな感じの方がいいのかなと思います。

これはこの答申についてではなくて全体的な課題として、もう一つは子供たちにとって消防の方というのは非常にかっこいいものです。それで自分が消防活動をやりたいという方が、やっぱりかっこいいおじさんが学校に来てあーやっぱかっこいいな、消防の仕事っていうのが印象に残るのが私は一番大事だと思っています。子供の時にうつけられたものというのがその後の人生に大きく影響して、例えばドラマを観て消防ってかっこいいなと思って入ったとか消防団に入ったみたいなのも多く聞いてありますね。どんどんぜひ消防の方にはぜひ出て行ってもらって、俺ってかっこいいだろうってアピールしてもらえればなと思います。以上です。



(委員長)

ありがとうございました。前半のところは今年の答申案ではなくということでありま  
すけれども、強弱をつけたりずっと重なってきたものがあるでしょうから、そうしたも  
のは次年度以降でぜひ検討事項として受け止めていただきたいということであると思  
います。後半の方は垣見会長からもありましたがカッコいい消防団の姿をということで、  
それはお父さんお母さんたちにも見せることないし、子供たちにもパパの姿をとい  
うことだと思います。そうした取り組みをまさに運動会・文化祭を通して様々な場  
面で見られるよう、意識的に取り組んでいただければと思います。よろしくお願  
いいたします。ほかその他ありますでしょうか。よろしいですか。

そうしましたら以上で議題を終えたいと思います。本日はお忙しい中ご出席賜り  
まして誠にありがとうございました。以上で令和6年度第2回消防団運営委員会を閉  
会いたします。ありがとうございました。